

2025 年度臨時（第 3 回）理事会議事録

1. 日 時：2026 年 1 月 24 日（土） 10：00～11：00
2. 場 所：日本青年館ホテル 8 階ルームイエロー
オンライン会議システム ZOOM を併用での開催

3. 出席状況

出席理事 28 名
出席監事 2 名
出席オブザーバー 8 名

・日本青年館ホテル

理事：馬場益弘、富田三和子、船澤泰隆、土肥美智子、安藤淳、望月宣武、中村和哉、
萩原ゆき、宮野幹弘、尾形依子、古屋勇人、長田美香子、地川浩二、秋田正紀、
佐藤公俊、田中葉子 以上、16 名
監事：鈴木保夫 以上、1 名

・オンライン参加（自宅）

理事：鈴木祥子、濱野文、鷹野淳子、吉田愛、石川彰、伊藤亮一、井上貴支、川戸仁、
岩瀬喜貞、平岡志帆、大槻映幸、五十川浩司 以上、12 名
監事：上野保 以上、1 名

オブザーバー：浅田素之総務委員長、松田一隆財政委員長、平松隆事業開発委員長、藤井裕
文ルール委員長、京黒太郎レースマネジメント委員長、黒川重男国スポ委員長、宮本貴文オ
リンピック強化委員長、久保田悟キールポート強化委員長 以上、8 名

4. 議事の経過及び結果

対面開催と ZOOM 併用でのハイブリッド方式で開催した。出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わることを確認し、適時的確な意見表明がお互いに出来る仕組みになっていることを参加者各位に確認し、議案の審議を下記のとおり開催した。

（定足数の確認）

理事 32 名中、出席者 28 名により、定款 34 条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立した。

（議長による開会宣言）

定款 33 条に基づいて、馬場益弘会長が議長となり、2025 年度臨時（第 3 回）理事会の開会を宣言し、議事進行を安藤専務理事に委任した。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人として、議長指名により、秋田正紀、鷹野淳子の両理事が任命された。

(審議事項)

1) 役員選考過程改定に伴う役員候補者選考規程等提案

2) 定款変更について

安藤専務理事から資料に基づき、役員選考過程改定に伴う役員候補者選考規程等提案ならびに定款一部変更について説明があった。

このたび日本セーリング連盟（JSAF）では、2026年度の役員改選において、従来の選挙による理事候補者選任を含む役員候補者選考方式を改め、新たな制度の制定とこれに必要な「定款」の改訂ならびに「役員候補者選考規程」の新設を、臨時理事会および臨時評議員会で審議する。

【背景と制度改正の必要性】

- ① 役員候補者選考委員会を設置、ここでの審査議論によって決定することが、スポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉において対応が必要である。
- ② JSAF パーパスの実現に向けては、いずれも「多様性」がそのキーワードとなっており、JSAF 役員においてもこの「多様性」確保の重要性が増している。
- ③ 現在、JSAF では、32名の理事会と51名の評議員会が併存しているが、理事候補者や評議員候補者の推薦に苦慮している実情がある。
- ④ 評議員会の役割である理事業務執行の監督を遂行することは困難であること、理事会32名は「外部理事の目標割合（25%以上）及び女性理事の目標割合（40%以上）」の達成が困難な状況であることなどに対応するために、役員候補者選考制度の制定と理事定数の変更に必要な定款の改訂、関係規程の新設をする。

【現行の理事候補者選挙制度が持つ課題】

現行の理事候補者選挙制度は選挙活動（投票勧誘活動）や多様な才能等を持つ方々の理事登用が難しいとの指摘がある。特に、外部理事候補者や会長推薦理事候補者、また、その他の理事候補者の選考が選挙結果に拘束されることは、役員候補者選考委員会による選考というガバナンスコードの趣旨に合致していない。

【今回の一連の制度改訂案の概要】

① 従来の選挙理事制度等廃止・「役員候補者選考委員会」の設置・活用する。現行の役員候補推薦管理委員会を廃止するとともに、役員候補者選考規程を新設し、同規程第6条の定めに従い、公正かつ適正な役員選考を実施するため、理事会と独立した役員候補者選考委員会を設置する。理事会と評議員会の位置付け見直し及び活性化する。理事会のスリム化と評議員会とのダブリ感の解消、評議員会の活性化・実質化を図る。評議員会の在り方については、継続検討する。

② 役員候補者選考委員会の構成・人選は、定数8～10名〈委員長は委員の互選〉（評議員から1～2名：評議員会にて決議 作田智恵子氏、今村哲也氏、監事から2名：監事の中で互選 上野保氏、鈴木保夫氏、事務局員から1名：原則として事務局長。但し、理事が事務局長を兼任している場合は、事務局長が指名する事務局員 寺澤寿一氏、参与及び顧問から1～3名：会長が常任委員会の承認を得て推薦し評議員会で決議 坂谷定生氏、森田豊三氏（以上、参与）、中川千鶴子氏（顧問）、外部有識者1～2名：GC等に見識を有する者（例・スポーツ法に詳しい弁護士や他のスポーツ団体の役員等）に会長が常任委員会の承認を得て推薦し評議員会で決議 山本隆弁護士（JSAF 総務委員会）、安藤尚徳弁護士を提案する。

③理事の定数は、現状の定款第 21 条「理事 23 名以上 32 名以内、理事のうち 1 名を会長とする。また、会長を除き 5 名以内を副会長、1 名を専務理事、4 名以内を常務理事とすることができる」を「理事 12 名以上 20 名以内（役付理事数は変更なし）」に提案する。理由として、理事会規模の適正化と実効性の確保、理事会の頻度をあげ迅速な意思決定等を行うことへの対応、女性理事・外部理事割合確保への対応である。幅広い関係階層等からの意見集約やフィードバックなどは、評議員会での議論の実質化や情報開示・組織内広報強化などで対応する方向である。

【理事候補者選考方法】

自薦・他薦によりあげられた者について、役員候補者選考委員会が、メンバーの多様性や連盟執行部として必要なスキルマトリクス（各専門委員会グループの統括的役割など含め）のバランス確保などに配慮して選考を行い、評議員会に対して直接推薦。ただし、アスリート・パラ委員会から各 1 名ずつ推薦、及び 7 つの水域（中国四国水域を一つに統合）の推薦努力（性別を問わない各 1 名）を規定する。

【理事候補者選考・理事選任プロセス】

自薦期限は役員改選評議員会の原則 12 週間前、他薦期限は原則 8 週間前、アスリート委員会・パラ委員会が 1 名ずつ推薦できる（現行と同様）、北海道東北・関東・中部・近畿北陸・関西・中国四国・九州沖縄の 7 水域からそれぞれ少なくとも 1 名の推薦が出るよう各水域加盟団体が努める（推薦する義務はないものの、将来の幹部候補となる若手や女性候補の推薦が期待される。規程案では、「水域ごとに、それぞれ候補者を 1 名ずつ推薦するよう努める」と規定。役員改選評議員会の原則 16 週間前までに設置される役員候補者選考委員会が選考を行う。

【役員推薦候補者の定年】

現状の理事及び監事候補推薦手続規則（理事会内規）「役員推薦候補者は、就任時に満 20 歳以上満 75 歳未満であることを要する。「ただし、会長及び副会長以外の役員推薦候補者の定年は満 70 歳とし、就任時にこれを超えないこととする」のただし書きを削除し、「一律、就任時に 75 歳を超えないこととする」と提案する。理由は、企業等における定年延長の流れと役員候補人材の確保観点からである。

【監事候補者の推薦】

会長が役員候補者選考委員会に対し候補者を推薦し、理事候補者と同じスケジュールで役員候補者選考委員会が候補者を選考する。

【理事会・常任委員会の位置付け】

理事会は原則年 6 回（隔月開催）とし、趣旨は開催頻度を上げ、理事会決議が必要な事項の承認をタイムリーに得られるようにする。また、常任委員会の位置付けと開催頻度は、年 12 回以上（毎月 1 度開催）とし、趣旨は業務執行に必要な事項を頻繁に検討・承認する。

【評議員及び評議員会】

評議員会の審議及び機能の実効性を高めるため評議員 30 名前後（未定）と現行の 51 名体制より減ずる制度改正を 2027 年末頃までに行う。評議員会は原則年 4 回とし、理事の業務執行の監督を行う。

【全国加盟団体代表者会議の位置づけ】

全国加盟団体代表者会議は、全国の加盟・特別加盟団体の代表者、委員会の代表者等が集い、

各種の活動報告等を行うとともに、連盟としての表彰式を含む新年会を合わせて現行の毎年1月年1回開催を維持するとの発言があった。

伊藤理事から、評議員会開催回数は2026年度から実施されるかとの質問があった。

安藤専務から、2026年度から開催頻度を増やす方向で考慮しているとの回答があった。

望月常務理事から、理事選任プロセスに記載されている「7水域からそれぞれ少なくとも1名の推薦が出るようにする」とされているが、役員候補者選考規程との整合性が不明である。最低1名か1名のみか、また複数選任は可能かとの質問があった。

安藤専務から、役員候補者選考規程案通り、1名の推薦をいただきたいとの回答があった。

尾形理事から、東北水域では情報は共有しているが2月全体会議で決定するとの発言があった。

田中理事から、3月の九州水域会議で決定するとの発言があった。

伊藤理事から、関東水域では外洋団体と調整を含め、2月関東ヨット協会で意見を徴収するとの発言があった。

井上理事から、女性理事候補者推薦にあたって、関東外洋団体会長と相談する。また、女性理事候補者を推薦することは必須であるかとの質問があった。

安藤専務から、各水域から女性理事候補者を1名推薦することは必須とは考えていない。自薦候補者も勘案して女性理事候補者を考慮しているとの回答があった。

船澤副会長から、自薦他薦で30名以上の理事候補者がある場合、水域候補者が選任されない可能性も考えられるのかとの質問があった。

安藤専務から、役員候補者選考規程ではありえる結果である。新しい制度での役員候補者選考委員への負担も考慮する必要があると回答があった。

岩瀬理事から、水域理事候補者は最終的にディンギー、外洋の推薦バランスをとるのかとの質問があった。

安藤専務から、結果ありきで取り組んでいただきたいとの発言があった。

望月常務から、今回の改正は全体としては賛成しがたい。各水域の議論が不十分でJSAFの方向性が見えない。個人の立場では具申すると、組織内広報に問題があると考えている。現状では、本質的な議論ができていないと意見を述べるとの発言があった。

安藤専務から、新しい理事会へ望月常務の懸念事項を申し送るとする旨の発言があった。

秋田理事から、最長5期10年というのは現制度の任期も含むのか、また、アスリート及びパラセーリング委員会のみ1名ずつ推薦（現行と同様）で、他委員会から推薦はできないのか質問があった。

安藤専務から、ガバナンスコードから役員任期は現制度の任期も含めて連続して5期10年を超えてはならない。なお、2期4年空ければ、新たな就任年数とできることになる。これは、特定の役員のみで運営することを解消する背景がある。また、IOCからアスリートの意見をいれることと、障がい者の意見を尊重すべきという要請から両委員会に理事候補者の選任を依頼している。その他委員会からの理事推薦者推薦はできないとの発言があった。

審議事項1) 役員候補者選考規程につき、反対1、保留3、賛成24で承認された。

審議事項2) 定款変更につき、反対0、保留0、満場一致で承認された。

(報告事項)

1) 業務執行理事報告

安藤専務理事から資料に基づき、業務執行理事報告があった。

- ① 役員候補者選考規程に基づく役員候補者選考委員の選任について、役員候補者選考規程第6条の定めに従い、理事会と独立した役員候補者選考委員会を設置したことに伴い、評議員会決議に基づき役員候補者選考委員となる各位について役員候補者選考委員として選任する審議を、本日11時から予定の臨時評議員会で提案する。
- ② 愛知・名古屋アジア競技大会(愛知・名古屋2026大会)セーリング競技大会の開催状況について、2026JSAF方針で、JSAF経営企画委員会「アジア大会統括チーム」の体制強化を図った。2026年9月26日～10月3日、海陽ヨットハーバーにおいて開催される本大会は、愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会(AINAGOC)とJSAF経営企画委員会「アジア大会統括チーム」が連携して運営体制の確立をするとともに、セーリング競技運営(機材調達、運営スタッフ要員の確保、等)についてAINAGOCとの間に業務委託契約を締結し、JSAFとして必要な準備を行って大会の開催に万全を期する。
- ③ JSAF事務局元職員の谷口晃親氏からの訴状受理の報告と対応に関する件については、訴訟提起への応訴方針を検討するにあたり、常任委員会として専門家からの助言もいただきながら検討を進めて全てについて争って完全勝訴を目指すことにした。訴訟費用等は理事会承認が必要であることから、次回2月理事会審議事項とするとの発言があった。

2) 広報委員会報告

萩原広報委員長代行から資料に基づき、広報委員会報告があった。

- ① JSAFホームページリニューアルの進捗状況について、昨年度に実施した会員アンケートの結果を踏まえ、リニューアル業務を委託する事業者の選定を進めている。
- ② 機関誌「J-Sailing」の発行について、2025年度「J-Sailing」を4月頃発行予定としている。郵送の場合、宛先不明により返送される事例が相当数発生していたことを踏まえ、今回から原則としてPDF形式での配布に移行する。郵送希望の会員は、システム上で意思表示を行っていただく運用としたとの発言があった。

以上をもって、オンライン会議システムZoomを使用し終始異常なく、議事全てを終了したので、議長は11時00分に閉会を宣した。2025年度臨時(第3回)理事会は、上記の通り同意ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名・捺印する。

2026年1月24日

議 長 会 長 馬 場 益 弘

議事録署名人 理事 秋田正紀

議事録署名人 理事 鷹野淳子

副会長 富田三和子

副会長 船澤泰隆

副会長 土肥美智子

専務理事 安藤 淳

常務理事 望月宣武

常務理事 中村和哉

常務理事 萩原ゆき

監事 上野保

監事 鈴木保夫